



新潟市立月潟小学校 学校だより 第4号 令和6年6月26日

いじめを生まない、見逃さない

校長 逢坂 一郎

令和4年度の新潟市のいじめ認知件数は約12600件、当校でも令和5年度の認知件数は80件でした。いじめは命にかかわる重大事態につながります。学校としては、いじめは絶対に許さない、見逃さないという基本姿勢のもと子どもたちの指導に当たっております。

改めていじめの定義を確認します。「いじめ」とは、一定の人間関係にある他の児童等が行う、心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象になった児童が、心身の苦痛を感じているものです。

月潟小学校では、誰もが安心して生活できる学校を目指し、いじめ防止、見逃しゼロのために次のことに取り組んでいます。

① 支持的風土の醸成

他者の人権を尊重し、認め合い、助け合い、高め合う 温かい学級の風土づくり

② いじめ未然防止にむけた教育プログラムの実施

いじめに正面から向き合う「学級活動と道徳科の授業」を核としたプログラム

学級活動…子どもにいじめについて考えさせ、いじめについて理解を深める

道徳科…いじめとは何か、なぜいけないのか、等について主体的に考えさせて、その解決のための内容項目（道徳的価値）が大切であることを気付かせる

③ シンキングエラーの解消

シンキングエラーとは、子どもがいじめに値する行為を「遊びだ」「ふざけて」「みんながやっているから問題ない」「相手も喜んでいた」など相手の気持ちを考えずに肯定する一方的な思考です。

シンキングエラーによるトラブルでは、自分ではいじめのつもりはないのに加害となってしまう場合があります、月潟小学校でもいじめの原因として多くあげられる理由の一つです。シンキングエラーによる行為に早く気づき指導することで、いじめの未然防止につながります。

④ 早期発見、早期対応

アンケートや相談、気になる子どもに対しての寄り添いながらの丁寧な聞き取りによる積極的な認知といじめを認知した時の組織的、迅速な対応

子どもたちが一人も嫌な思いをしないようにするには全員の力が必要です。学校だけでなく、保護者地域の皆様とも連携・協力しながら、いじめを身近な自分事として捉え、他者の気持ちを思いやり、いじめや差別を許さない子どもの育成を目指してまいります。よろしくお願いたします。

子どもたちの様子

<6月12日(水) 学習参観>

今年度2回目の学習参観がありました。学校生活に慣れてきて、前回よりも緊張が少なく、伸び伸びとした様子で授業に取り組んでいる姿が見られました。たくさんの保護者の皆様からご来校いただき、ありがとうございました。



<6月17日(月) 体力テスト>

体力テストのうちの5種目(立ち幅跳び、反復横跳び、長座体前屈、上体起こし、ソフトボール投げ)を、クルーズ班で回って計測しました。6年生がリーダーとして班のメンバーを引っ張り、やり方を教えたり、回数を記録したりしていました。班のみんなで声を掛け合いながら、自分の記録を更新しようと努力していました。



お知らせ

○個別懇談会について

- ・7月2日(火)、4日(木)、5日(水)は個別懇談会です。担任から事前にお知らせした時間帯で実施いたします。今年度から、通知表による「行動の記録」の記載を行わないこととし、懇談会の際にお子さんの主な様子をお伝えするようにいたします。
- ・懇談会の日、夏休み用のワークブック類の集金日となっております。玄関前に集金用のポストを設置いたしますので、集金袋をお持ちいただき、そのポストに投入してください。

○夏休みの課題について

- ・上記でもお知らせいたしました通り、今年度は、夏休み用のワークブック類をご家庭で選んで注文していただく形式にいたしました。お子さんと相談して、取り組みやすいものを1人1冊決めてご注文ください。
- ・今年度は、夏休みの1人1課題の宿題はありません。夏休み後の作品展も行いませんので、ご了承ください。コンクールなど個別にチャレンジするものは、例年通りおたよりで紹介します。
- ・夏休みの課題の詳しい内容については、7月に入ってからの各学年だよりでお知らせいたします。よろしく願いいたします。

「月潟小ブログ」

日々の学校の様子をブログで公開しています。

是非、お気に入りへの登録をお願いします。

<https://blog.city-niigata.ed.jp/tukigatainaho/>

